

# 地域の会



▲第70回定例会（柏崎原子力広報センター）



◀第69回定例会  
（柏崎原子力広報センター）

## CONTENTS

**第69回定例会**  
東京電力、原子力安全・保安院及び新潟県から  
状況説明を受け質疑応答 .....2

**第70回定例会**  
県技術委員会の論点の見解、  
原子炉圧力容器、火災に関する質疑応答 .....3

発電所を巡る主な動き  
地域の会に寄せられた声「みんなの広場」  
第4期委員の紹介とご意見募集 .....4

### 柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会（「地域の会」）

柏崎刈羽地域では、現に存在する原子力発電所と対峙して生活せざるを得ません。それが事故無く稼動することは、個々の考え・主張の如何によらず、住民の最低かつ共通の思いです。

「地域の会」では、発電所そのものの賛否はひとまず置いて、安全運転に係る事業者や行政当局の必要にして十分な情報提供に基づき、発電所の安全について状況を確認し、地域住民の素朴な視線による監視活動を行うとともに、必要な提言を行うことを目的に、平成15年5月に発足、設置趣旨に沿った様々な活動を行っています。

#### 地域の会 概要

- ①会員は、柏崎市、刈羽村に在住し、会が認める各種団体および地域の推薦を受けた24名の委員で構成。任期は2年。
- ②会の任務：(1)原子力発電所の運転状況及び影響等の確認・監視  
(2)事業者等への提言  
(3)会での議論、活動等の住民への情報提供  
(4)委員の研修  
(5)その他会の目的を達成するために必要と認められる事項
- ③県、市、村、国、事業者はオブザーバー、又は説明者として出席
- ④会議の種類：定例会（毎月1回）  
臨時会（必要に応じ開催）  
※会は、原則すべて公開。

# 第69回定例会

## 東京電力、原子力安全・保安院及び新潟県から状況説明を受け質疑応答

### 第69回定例会の概要

開催日	平成21年3月4日(水)
場所	柏崎原子力広報センター(研修室)
出席者	16名(欠席8名)
オブザーバー	新潟県、柏崎市、刈羽村 原子力安全・保安院 保安検査官事務所 地域担当官事務所 東京電力(株)
内容	●前回定例会以降の動き ●発電所の状況説明 ●東電報告に対する評価 ●県小委員会の検討状況 ●質疑応答 他

**東京電力から「発電所の状況説明」**  
原子力安全・保安院から「東電報告に対する評価」、新潟県から「県小委員会の検討状況」について説明を受け、各委員から質問及び意見・要望が出された。

#### 【質疑応答】

● 県は運転再開をどのように考え、いつ、どのように決断するのか。

**新潟県** 県の小委員会で整理した論点を県民にわかりやすく伝えることが大切。スケジュールありきではなく、県民の安心と安全を第一に対応していきたい。

● 海底に設置された地震計はなにか。  
**保安院** 中越沖地震発生後、東大地震研究所が海底に地震計を設置。

● 海底での地震計設置は地震予知にも役立つと思うが。

**東京電力** 余震観測用に設置したものである。漁業に支障があるため現在は撤去されていると聞いている。

● 発電所で処理した貝からコバルト

とセシウムが検出されたが、これは何のために分析しているのか。  
**東京電力** データ蓄積のために自動的に年1回、処理した貝などの測定をしているもの。



#### 【各委員からの意見・要望】

● 衛星や電波を利用した地震予知など国や県はもっと研究してもらいたい。

● 地元では、運転再開は、時期尚早という意見が多かった。現在の評価よりも断層が長い可能性があれば、本当に不安。専門的な議論を丁寧に説明してもらいたい。安心につながると思う。また7号機の起動後に緊急停止を実際に、安全を確認してほしい。

● 基準地震動が過小評価されたら将来大惨事を招くことになる。佐渡海盆東縁断層について意見が分かれています。議論にもっと時間をかけてほしい。7号機の起動試験は今のままでは容認できない。

● 佐渡海盆東縁断層評価が、県の地震

地質小委員会では、過小評価されていると思う。住民説明会での疑問や質問を技術委員会でも議論すればさらにわかりやすくなり市民が安心できると思う。

● 東京電力も保安院も丁寧な説明をしていることはわかる。しかし具体的な問題について、一定の調査をし、科学的な見解を出すという責任を果たさなければ不信は解消しない。

● 説明責任や発言責任は誰にあるのか。ないなら、ないことの立証。あるなら、あることの立証に責任をもってもらいたい。県にはきちんと判断してもらいたい。それが安心につながると思う。

● 地学や地質は実証が難しい。いろいろな事象から仮定を立て説明し議論をしている。県の小委員会における学者の意見を聞いて自分達で判断するしかない。我々が安全を信頼するしかない。

● 国が安全だと言っている。それ以上誰が安全だといえど安全なのか。あとは知事、市長、村長の政治判断で決着するしかないと思う。



● 透明性について、包み隠さず提示してもらいたい。やはり大切だと思う。  
● 地震に対して対応できる技術力で発電所を造ってもらいたい。  
● 会ができて6年。賛成派、反対派、中立派の三者が言いっぱなしの会だが、それをぜひ踏襲してほしい。技術論は我々にはわからない。県や市や村には信用できる采配をしてほしい。東京電力が一般市民に信用、信頼される行動をしていけば再開も遠いことではない。国も県も東電も、住民から信頼される行動をしてほしい。

● 今までの安全審査では想定もできない地震が実際に起き、その安全審査に関わってきた人たちがまた新しい安全審査に関わっている。これで大丈夫なのかと思ってしまう。

● 原発が財政危機を救う本質的な解決になるのかどうか。もっと広くものをみて議論していくほうが良いと思うし、拙速に結論をだすのではなく、もう少し待ったほうが良いと思う。

● それぞれ違う立場の人たちが意見の一致をみることはないと思っている。1000ガルの地震は街がふつとぶほどのものと思っていたが、それでも発電所はきちんと止まったことを評価している。起動試験も行っていいのではと思っている。

● 意見が分かれるということに関しては住民や専門家も同じ。県の小委員会の論点については地元住民は承知している。それよりも知事や県がどう考えているのか、そこが県民として聞きたいこと。



# 第70回定例会

## 県技術委員会の論点の見解、原子炉圧力容器、火災に関する質疑応答

### 第70回定例会の概要

開催日	平成21年4月8日(水)
場所	柏崎原子力広報センター
出席者	19名(欠席5名)
オブザーバー	新潟県、柏崎市、刈羽村 原子力安全・保安院 保安検査官事務所 地域担当官事務所 東京電力(株)
内容	●前回定例会以降の動き ●県技術委員会動きと論点の見解説明 ●火災及び耐震データの一部誤りの説明他



**新潟県から「小委員会整理した論点に関する技術委員会の見解」、保安院から「1号機における平成10年に確認された亀裂報告」、東京電力から「火災及び耐震評価データの一部誤り」に関する説明を受け、質疑応答を行った。**

#### 【質疑応答】

**Q** 7号機の起動試験について、知事は地元と県民の受け止め方をどのように把握するつもりなのか。

**新潟県** 知事は、県民の理解をどのように確認するかを含め、市長、村長との三者会談で詰めていきたいと話している。

**Q** 内部告発で発覚した平成10年1号機の原子炉圧力容器計装ノズルの亀裂補修工事の報告について経緯についての説明がないか。

**保安院** 告発された事案ではあるが調査を進めており、結果がまとまり次第公表する。

**Q** 平成14年のデータ隠しのときに膿

は全部出したと言いながら、ノズルの補修工事のことが、今になって明らかになったということはどういうことか。

住民や世間に対し誠意が伝わらない。企業の姿勢に問題があるのではないか。

**保安院・東京電力** 経緯を含め、きちんと丁寧に説明をすべきだった。

**Q** 修理や部品の交換などを行った程度でも、公表する、しないの基準はあるのか。

**保安院** 平成14年から全ての不具合を不適合管理としてすべて公開している。

**Q** 県の防災計画の見直し素案から、県民の意見募集はどう進めたのか。

**新潟県** 原発立地道府県で自然災害による地域防災計画の複合災害編を1年かけて検討を重ねてきた。パブリックコメントについては、県庁や地域振興局でホームページや電話、メール、手紙などで受け付けていた。

**Q** 複合災害を想定した防災訓練の計画はあるか。

**新潟県** 柏崎市・刈羽村と計画しながらできるだけ現実的に対応できる訓練を考えていきたい。

**Q** 複合災害時にヨウ素剤の服用に

ついてどうするのか。

**柏崎市** 地震などで道路が寸断された場合に備えて、ヨウ素剤を近くの小中学校などに分散配置をしている。

**Q** 新聞報道では東京電力の東2kmに活断層があると示され再調査の必要性が言われている。再調査はするのか。

**東京電力** 小委員会でご理解いただいたと考えているので、追加調査はしない。

**Q** タービンの補助壁計算ミスについて。

**東京電力** 多くの反省点がある。担当者が入力忘れ、審査者の誤解などが背景となった。

**Q** 発電所に関わる従業員すべてに入所時教育を行なっているか。

**東京電力** 協力企業も含め、全ての従業員に対して、発電所入所時に安全、放射線に関する教育を行なっている。

**Q** 火災の原因となったエタノール(\*)は何に使うのか。ポリ袋に入れたのはなぜか。

**東京電力** 塗装を落とす剥離剤として使用。金属の密閉容器では万一漏れる恐れがあるため袋に入れて現場に持ち込んだ。

(※燃えたものは、ポリ袋に入れたエタノールではなく、揮発性の洗浄剤が、ポリ袋を移動する際、静電気によつて燃えたもの。)

#### 【各委員からの意見・要望】

●記者会見で市長や村長の再開容認発言があった。知事も見解を明確にしてほしい。

●住民説明会やアンケートの数字だけで再開容認につながると思えない。

●相次いだ火災も含め、市民感情としてすっきりしない。

●火事と原発再開は別物だと思う。地元住民が皆反対しているわけではない。だからこそ首長が判断すべき。

●県の技術委員会の小委員会では、運転再開の慎重論と容認論の両論併記がなされたが、本委員会では容認論の立場に立つ見解がまとめとして出された。この過程をもとに三者会談で再開容認を決定することについては禍根を残す。県民に対し双方の説明を聞く場を設けてほしい。

●説明会の参加者が少ないのは広報のやり方に問題がある。町内会などを通し各戸にチラシを配るなどもっと積極的なPRをすべき。

●7号機のインターナルポンプケーシングの健全性は非常に大きな問題。ファイバースコープでの目視検査は、10機のうち2機だけしか行なっておらず、計算に頼っている。納得できる形で点検、試験をしてほしい。

●新たな活断層の指摘に対し、安全側の判断に立ち再調査することが立地住民との信頼関係を得ることにつながると思う。

●否定的な見方でなく、グローバルな視点で原子力を貴重な財産と捉え前向きに発電所と付き合っていきたい。

●想定を超えた地震ではあったが、発電所の安全は確保されたということも

事実。またいろいろな立場で紳士的に議論されていることが住民にとっては安心につながっている。

●今後も何かあるのではないかとという想定で技術委員会を続けてほしい。

●地域の会の委員として、議論だけで結論を出せないということについては、残念に思っている。

●発電所の再開について、今までのプロセスをきちんと記憶しておくことが大切と思う。

●発電所で何度も火事が起きていることに怖さを感じる。今まで危険物を扱う講習会が少なかったことに愕然とした。

●発電所に関わっている協力企業の従業員の方々の教育訓練の精度を上げない限り、再発は防止できない。責任の所在をはっきりさせなければ、同じことの繰り返しになる。

●発電所が再開してもすべてが解決したことはない。事実を確認しながらいろいろな思いを発信したい。



# 発電所を巡る主な動き (2月4日～4月7日)

2月4日	6号機に関する新潟県中越沖地震後の設備健全性に係る点検・評価報告書(建物・構築物編)(改訂1)の提出について公表	2月4日	地震における柏崎刈羽原子力発電所に関する安全性と健全性の柏崎市民説明会を開催
5日	新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況および不適切について公表	5日	柏崎刈羽原子力発電所に関する安全性と健全性の柏崎市民説明会を開催
6日	3号機排気筒付近(屋外)におけるけが人の発生について公表	6日	新潟県 技術委員会開催
9日	新潟県 三者会談(知事・柏崎市長・刈羽市長)	9日	柏崎刈羽原子力発電所において、中越沖地震における柏崎刈羽原子力発電所に関する安全性と健全性の柏崎市民説明会を開催
10日	柏崎刈羽原子力発電所に関する安全性と健全性の柏崎市民説明会を開催	10日	柏崎刈羽原子力発電所に関する安全性と健全性の柏崎市民説明会を開催
12日	新潟県 柏崎市・刈羽市 安全協定に基づく状況確認	12日	柏崎刈羽原子力発電所に関する安全性と健全性の柏崎市民説明会を開催
13日	保安院 中越沖地震における原子力施設に関する調査・対策委員会(設備健全性評価サブWG)開催	13日	保安院 中越沖地震における原子力施設に関する調査・対策委員会(設備健全性評価サブWG)開催
16日	保安院 7号機の起動に係る安全確認について原子力安全委員会に報告	16日	保安院 7号機の起動に係る安全確認について原子力安全委員会に報告
17日	保安院 柏崎市において、新潟県中越沖地震における柏崎刈羽原子力発電所に関する調査・検討状況の住民説明会を開催	17日	保安院 柏崎市において、新潟県中越沖地震における柏崎刈羽原子力発電所に関する調査・検討状況の住民説明会を開催
18日	保安院 東京電力より7号機原子炉建屋タービン建屋及びコンタロール建屋におけるひび割れ補修報告書及び7号機原子炉建屋屋根トラス及び排気筒における高力ボルト点検報告書を受領	18日	保安院 東京電力より7号機原子炉建屋タービン建屋及びコンタロール建屋におけるひび割れ補修報告書及び7号機原子炉建屋屋根トラス及び排気筒における高力ボルト点検報告書を受領
19日	新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況および不適切について公表	19日	新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況および不適切について公表
23日	新潟県 三者会談(知事・柏崎市長・刈羽市長)	23日	新潟県 三者会談(知事・柏崎市長・刈羽市長)
26日	新潟県 技術委員会(設備健全性・耐震安全性に関する小委員会)開催	26日	新潟県 技術委員会(設備健全性・耐震安全性に関する小委員会)開催
27日	新潟県 柏崎市・刈羽市 安全協定に基づく状況確認	27日	新潟県 柏崎市・刈羽市 安全協定に基づく状況確認
28日	新潟県 柏崎市・刈羽市 安全協定に基づく状況確認	28日	新潟県 柏崎市・刈羽市 安全協定に基づく状況確認
3月4日	新潟県 柏崎市・刈羽市 安全協定に基づく状況確認	3月4日	新潟県 柏崎市・刈羽市 安全協定に基づく状況確認
3月5日	新潟県 柏崎市・刈羽市 安全協定に基づく状況確認	3月5日	新潟県 柏崎市・刈羽市 安全協定に基づく状況確認
4月2日	新潟県 柏崎市・刈羽市 安全協定に基づく状況確認	4月2日	新潟県 柏崎市・刈羽市 安全協定に基づく状況確認
4月3日	新潟県 柏崎市・刈羽市 安全協定に基づく状況確認	4月3日	新潟県 柏崎市・刈羽市 安全協定に基づく状況確認
4月4日	新潟県 柏崎市・刈羽市 安全協定に基づく状況確認	4月4日	新潟県 柏崎市・刈羽市 安全協定に基づく状況確認
4月5日	新潟県 柏崎市・刈羽市 安全協定に基づく状況確認	4月5日	新潟県 柏崎市・刈羽市 安全協定に基づく状況確認
4月6日	新潟県 柏崎市・刈羽市 安全協定に基づく状況確認	4月6日	新潟県 柏崎市・刈羽市 安全協定に基づく状況確認
4月7日	新潟県 柏崎市・刈羽市 安全協定に基づく状況確認	4月7日	新潟県 柏崎市・刈羽市 安全協定に基づく状況確認

※号機ごとの記載は柏崎刈羽原子力発電所分  
色は東京電力の動き 色は行政の動き

## 地域の会に寄せられた声 みんなの広場

### 第4期委員の紹介とご意見募集

「みんなの広場」への投稿をお待ちしています。

原子力発電に対する思いは、賛成、中立、反対、また、その思いの強さ等もいろいろなお考えをお持ちと思います。「地域の会」では、地域住民の皆様からのご意見をお待ちしています。

**【投稿要領】**  
 テーマ 「原子力発電に関すること」「地域の会に対するご意見、要望、提言」など  
 文字数 600字程度  
 投稿方法 郵送、FAX、電子メール、等で下記「地域の会」事務局宛にお送り願います。  
 その他 お名前と顔写真を掲載させていただきます。詳細等お問い合わせは「地域の会」事務局までご連絡願います。

### 第4期 地域の会委員

五十音順、敬称略

No.	委員氏名	再任	No.	委員氏名	再任
1	浅賀千穂	○	13	関口美智子	
2	天野巖		14	高橋武	○
3	会長 新野良子	○	15	高橋優一	○
4	池田知明	○	16	高橋義範	○
5	伊比智	○	17	武本和幸	○
6	鬼山應人	○	18	中沢洋一	○
7	金子彰夫	○	19	萩野武夫	○
8	上村美佐子	○	20	前田弘実	○
9	川口寛	○	21	牧藤一	○
10	久我重雄	○	22	宮島洋一	○
11	佐藤正幸	○	23	吉野信哉	○
12	三宮政邦	○	24	副会長 渡辺丈夫	○

**推薦団体**

荒浜21フォーラム	刈羽エネルギー懇談会	原発問題を考える刈羽西山住民の会
柏崎エネルギーフォーラム	刈羽村区長連絡協議会	くらしをみつめる・・・柏桃の輪
柏崎刈羽原発反対地元三団体	刈羽村商工会	高浜地区町内会
柏崎市	旧西山町	ブルサーマルを考える医師歯科医師の会
柏崎市コミュニティ連絡協議会(社)	協同組合ニューエネルギーリサーチ	ブルサーマルを考える柏崎刈羽市民ネットワーク
柏崎青年会議所	原発反対刈羽村を守る会	松浜地区町内会
かむさき男女共同参画プラン推進市民会議	原発問題を考える柏崎刈羽地域連絡センター	連合新潟柏崎地域協議会

平成21年4月30日をもって退任された方(敬称略)

相沢 藤男 伊藤 五也 加藤 サエ子 種岡 和也 中川 一

### 今後の「地域の会」定例会の開催案内

**第73回定例会**  
 日時:平成21年7月1日(水)午後7:00～  
 場所:柏崎原子力広報センター(研修室)

**第74回定例会**  
 日時:平成21年8月5日(水)午後7:00～  
 場所:柏崎原子力広報センター(研修室)

※開催日時や場所は変更になる場合がありますので、詳しくは事務局にお問い合わせ願います。

会は公開で行われています。お気軽にお越し下さい。

地域の会ではホームページで活動の全てを公開しています。  
 ホームページでは活動状況をタイムリーにお知らせすると共に、会議録、会議資料の全文を公開しており、資料をダウンロードすることもできます。  
 また、ホームページおよび地域の会に対するご意見・お問合わせについて、ホームページ上からも受け付けています。

<http://www.tiikinokai.jp>

編集後記

地域の会も発足して6年が経過し、4期目の新たなスタートが始まろうとしています。それとほぼ時を同じくして東京電力柏崎刈羽原子力発電所7号機の起動試験容認の発表が新潟県知事よりありました。

その一文を抜粋する「原発に賛成の方も反対の方も安全の確保が何にもまして必要という点では全く違いないというふうに思います。異なるのは、安全確保の程度・方法論なのではないでしょうか。」(抜粋)と説明されました。

私たち地域の会は、賛成の方も反対の方も中立の立場の人も委員に含まれています。それぞれ安全安心の尺度は違いますが、地域の安全の確保、安心の向上に繋がるために私たちは、日々発電所に対し、より一層の情報公開や透明性を求め、それぞれ意見や議論していくことが重要であると感じております。

これからも地域の会は、発電所と地域が共存・共生するために住民の目線で捉え、情報を発信していきたいと思っております。(運営委員 高橋)